

授業科目 運動負荷学

【担当教員名】  樺 淳裕	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】 運動に伴う呼吸・循環反応や代謝経路について理解し、理学療法治療で行う運動の強度設定やその根拠を理解する。また、安静時や運動時の心電図を理解し、リスク管理の基礎として役立てる。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 運動と健康との関連や運動の功罪について説明できる。 2. 運動に必要なエネルギーおよびその代謝経路について列挙できる。 3. 根拠に基づいて、運動を処方することができる。 4. 運動の禁忌について、説明できる。 5. 心電図の基礎波形について、説明できる。 6. 心電図の読み方について説明できる。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	運動と健康、運動の功罪、運動と体力		1	講義
2	運動の種類とエネルギー供給		2	講義
3	運動と体力		1, 3	講義
4	運動処方		3	講義
5	運動の禁忌		4	講義
6	心電図の基礎波形		5	講義
7	心電図の読み方		6	講義
8	まとめ		1-6	講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	理学療法士のための運動処方マ ニュアル 第2版	奈良勲(編)、大成浄志(編)、川口 浩太郎(編)	文光堂	2009・4,200円
参考書	運動処方の指針 原著第7版	日本体力医学会体力科学編集委員会 (監訳)	南江堂	2006・3,500円+税
その他の資料	必要に応じ、資料を配布			
【評価方法】 定期試験、出席、小テスト、授業態度等、総合的に評価します。		【履修上の留意点】 生理学や運動学の理解が不可欠です。関連分野を復習した上で、授業に臨んで下さい。		